

## マテリアリティ

### 11項目のマテリアリティ(重要課題)を特定

日油グループは、NOF VISION 2030のありたい姿を実現するため、それぞれの課題でKPIとその目標を設定しています。

目標数値と実績とのギャップを評価し、翌年以降の目標を再設定して達成を目指します。

#### マテリアリティ特定プロセス



従来のプロセスで検討したテーマに、新たな社会課題・注目度の高い課題を加え、候補テーマをリストアップします。各種ガイドラインを参考に、マテリアリティ要素として分類・集約します。

#### 参考資料

- ISO26000
- GRIスタンダード
- SASB CHEMICALS
- SDGs
- 同業他社のマテリアリティ
- 社内ワークショップ

マテリアリティ要素について、「社会への影響度」と「自社への影響度」の2軸で、取り組むべき優先度を評価します。これには以下の項目を考慮します。

- ① ESG評価機関による日油の評価結果
- ② 直近1年間に株主さまからいただいたESGに関するご意見
- ③ 日油グループが過去に推進してきた課題の視点

CSR活動の推進を担う各部門の意見を取りまとめた上で、役員執行役員で構成する政策会議、ならびに社長を委員長とするCSR委員会における協議を経て、重要課題を選定します。また、重要課題の主管部門・担当部門は、KPI・目標値を立案します。

重要課題を取締役会で承認します。また、各項目のKPI・目標値は、取締役会の意見を踏まえて適宜修正します。これに基づき、各部門はそれぞれの活動を実行します。

重要課題は、定期的にレビューを行います。重要課題の各項目は、社内外のステークホルダーの意見を取り入れ、STEP1～3を経て毎年見直しています。

## マテリアリティ

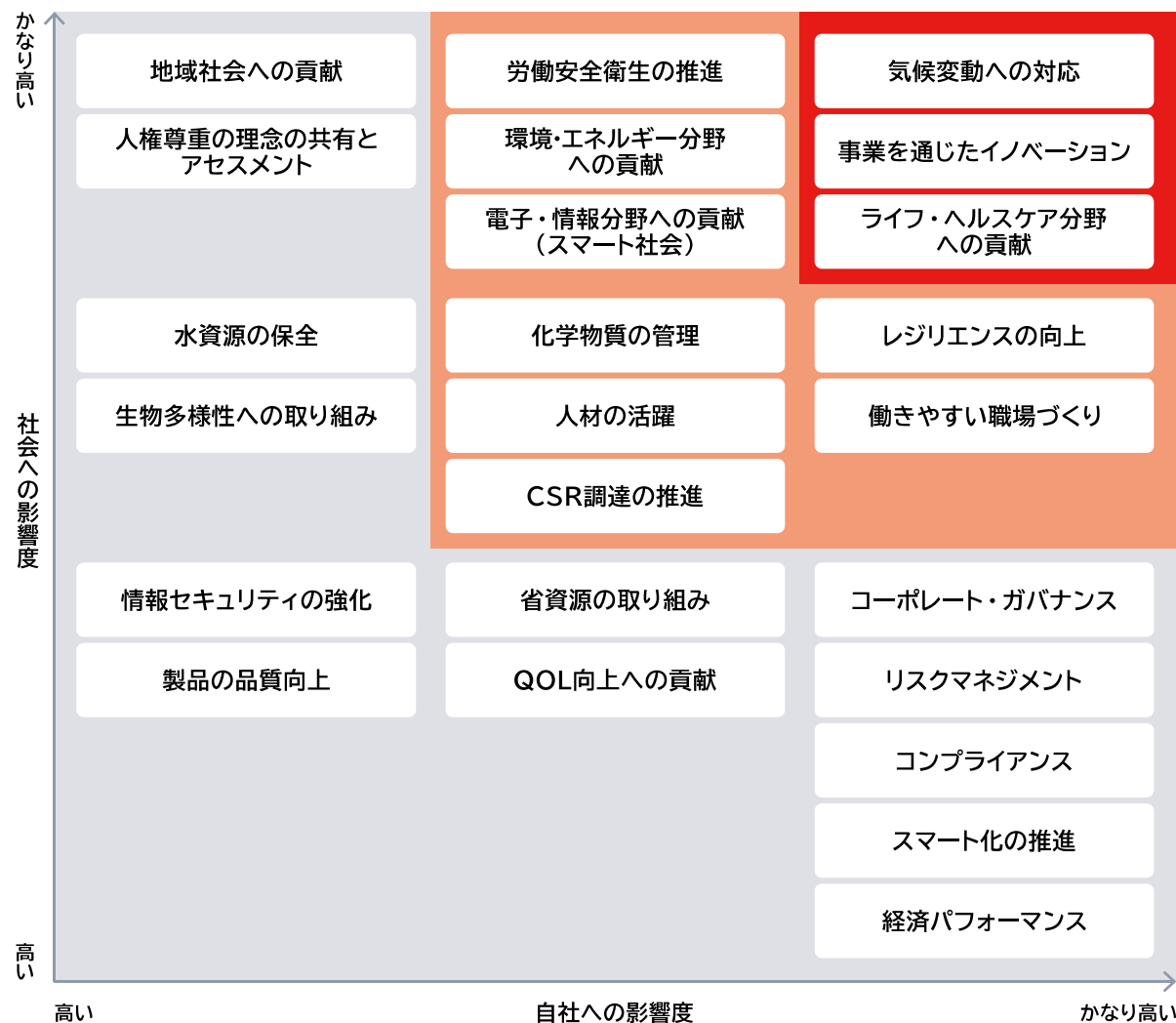
### マテリアリティ・マトリックス

24項目のマテリアリティ要素を「社会への影響度」と「自社への影響度」の2軸でマッピングし、マテリアリティ・マトリックスにしました。右上の領域に示される11項目を重要課題(マテリアリティ)として特定しました。

### 2023年度 レビュー

社長を委員長とするCSR委員会に社外取締役を含む全取締役および役付執行役員が参加して、各マテリアリティの2023年度の実績値をもとに、マテリアリティのレビューと2024年度の目標を設定しました。

マテリアリティ・マトリックス



## マテリアリティ

### 3つのカテゴリと主な取り組み内容

マテリアリティ・マトリックスに配置した11項目の重要課題は、大きく3つの活動カテゴリーに分類しました。

### 豊かで持続可能な社会実現のための新たな価値の提供

目指す3分野に向けて、多岐にわたる事業展開の中で培ったコア技術の組み合わせにより、新しい価値の提供を目指します。



▶ P.046-049

### 事業基盤の強化

価値観の多様性を受け入れる企業風土を築き上げるとともに、環境の変化、技術の進歩を適切に捉え、レジリエンスを高めていきます。



▶ P.050-055

### レスポンスブル・ケア活動の推進

製品の開発、製造から廃棄まですべての過程において、「環境・安全・健康」を確保することで、社会全体から信頼される企業グループを目指します。










▶ P.056-069

豊かで持続可能な社会実現のための新たな価値の提供

マテリアリティ	目標(KPI)	2023年度				2024年度		
		目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標値	目標年	主な取り組みの内容
事業を通じた イノベーション	 研究開発投資額 (日油グループ)	256億円 (3年間累計)	2025年	73億円 (達成率28%)	研究開発力の強化 ● 産学委託研究公募 ● 共同研究の推進 ● 研究開発支援強化 ● 知財戦略策定と戦略出願	256億円 (3年間累計)	2025年	研究開発力の強化 ● 産学委託研究公募 ● 共同研究の推進 ● 研究開発支援強化 ● 知財戦略策定と戦略出願
	 特許出願件数 (日油)	500件 (3年間累計)	2025年	161件 (達成率32%)		500件 (3年間累計)	2025年	
ライフ・ヘルスケア 分野への貢献 (日油グループ)	 ライフ・ヘルスケア分野 への 戦略製品の売上高	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	3.1%UP	● 戦略製品のライフ・ヘルス ケア分野への供給	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	● 戦略製品のライフ・ヘルス ケア分野への供給
環境・エネルギー 分野への貢献 (日油グループ)	 環境・エネルギー分野 への 戦略製品の売上高	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	11.8%UP	● 戦略製品の環境・エネル ギー分野への供給	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	● 戦略製品の環境・エネル ギー分野への供給
電子・情報分野 への貢献 (スマート社会) (日油グループ)	 電子・情報分野 への 戦略製品の売上高	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	1.2%UP	● 戦略製品の電子・情報分 野への供給	15%UP (対2022年度 実績)	2025年	● 戦略製品の電子・情報分 野への供給

事業基盤の強化

マテリアリティ	目標(KPI)	2023年度				2024年度		
		目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標値	目標年	主な取り組みの内容
<b>働きやすい職場づくり</b> ・エンゲージメント 日油	 年次有給休暇取得率	75%以上	2025年	<b>76.0%</b>	● 年次有給休暇取得の促進	75%以上	2025年	● 健康経営宣言周知による意識付け
	 総合エンゲージメントスコア	50.0以上	2025年	<b>49.5</b>	● エンゲージメント調査を起点とした施策の実行	50.0以上	2025年	● エンゲージメント調査を起点とした施策の実行
<b>人材の活躍</b> ・人材育成 ・ダイバーシティ 日油	 研修費用	2.5倍以上 (2022年度比)	2025年	<b>1.7倍</b>	● 人材育成支援の強化	2.5倍以上 (2022年度比)	2025年	● 人材育成支援の強化
	 新卒総合職女性の採用比率	30%以上	毎年	<b>32.7%</b>	● 総合職女性の採用拡大	30%以上	毎年	● 計画的採用の実行
	 女性管理職比率	3倍以上 (2021年度比)	2030年	<b>1.1倍</b>	● 女性管理職比率の拡大	3倍以上 (2021年度比)	2030年	● 計画的採用の実行 ● 女性管理職育成、登用
	 障がい者雇用率	3.0%以上	2030年	<b>2.54%</b> (2024年3月末)	● 障がい者雇用の推進	3.0%以上	2030年	● 障がい者雇用の推進
	 正社員男女賃金差異比率	75%以上	2030年	<b>72.6%</b>	● 男女賃金差異の縮小	75%以上	2030年	● 生産箇所等の就労環境整備 ● 女性管理職育成、登用
	 男性育児休業取得率	100%	2030年	<b>97.4%</b>	● 男性育児休業取得率の拡大	100%	2030年	● 取得しやすい環境整備
	 経営職・総合職経験者採用比率	25%以上	毎年	<b>38.8%</b>	● 経験人材の採用	25%以上	毎年	● 計画的採用の実行
<b>CSR調達の推進</b> 日油	 CSRアンケート調査のカバー率(購入金額ベース)	85%以上	2025年	<b>83%</b> (2025中計期間の累計)	● サプライヤーへのCSRアンケート調査実施(購入金額が500万円/月以上のサプライヤー)	85%以上	2025年	● サプライヤーへのCSRアンケート調査実施(購入金額が100万円以上500万円/月未満のサプライヤー)
	 CSR調達の定着化に向けた対象サプライヤーへの面談による改善依頼(会社数ベース)	85%以上	2025年	— (2025年度実施予定)	● 対象とするサプライヤーの検討と面談内容のブラッシュアップ	85%以上	2025年	● 対象サプライヤーへの面談による改善依頼の(前倒し)実施
<b>レジリエンスの向上</b> 日油グループ	 BCP教育訓練時間	のべ 4,000時間以上	毎年	のべ <b>7,000時間</b>	● 各種BCPマニュアルの充実化 ● 訓練シナリオ拡充による対応力向上 ● 監査による箇所活動の点検・確認	のべ 4,000時間以上	毎年	● 各種BCPマニュアルの充実化 ● 訓練シナリオ拡充による対応力向上 ● 監査による箇所活動の点検・確認

レスポンシブル・ケア活動の推進

マテリアリティ	目標(KPI)	2023年度				2024年度		
		目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標値	目標年	主な取り組みの内容
気候変動への対応	 <p>CO<sub>2</sub>排出量 国内グループ</p>	40%削減 (2013年度比)	2030年	135千トン/年 25%減 (2013年度比)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低環境負荷エネルギー源への転換推進</li> <li>● 省エネ設備の導入推進</li> <li>● エネルギー効率的利用と見える化の推進</li> </ul>	40%削減 (2013年度比)	2030年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低環境負荷エネルギー源への転換推進</li> <li>● 省エネ設備の導入推進</li> <li>● エネルギー効率的利用と見える化の推進</li> </ul>
	 <p>カーボンニュートラル 日油グループ</p>	達成を目指す	2050年			達成を目指す	2050年	
化学物質の管理	 <p>2021年度改正 PRTR対象物質排出量 国内グループ</p>	170トン/年 以下	毎年	167トン/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排出量削減施策の創出と実行</li> <li>● 製造プロセスの再評価</li> </ul>	170トン/年 以下	毎年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排出量削減施策の創出と実行</li> <li>● 製造プロセスの再評価</li> </ul>
労働安全衛生の推進	 <p>休業災害発生件数 国内グループ</p>	ゼロ	毎年	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 危険に対する感性の向上</li> <li>● 基本的安全行動の徹底</li> <li>● 災害リスクの低減</li> <li>● 三現主義に基づく対策の強化</li> </ul>	ゼロ	毎年	<p>全員参加とリスクの先取りによる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 危険に対する感性の向上</li> <li>● 基本的安全行動の徹底</li> <li>● 災害リスクの低減</li> <li>● 三現主義に基づく対策の強化</li> </ul>